平成２６年度　政務活動費　先進都市調査報告書

会派名	新緑会
議員名	早坂　博　　羽立　秀光
調査実施年月日	平成26年8月28日(木)
調査先　自治体名等	長崎県壱岐市
調査項目	①　しまごとプロジェクト推進事業について　②　行財政改革について
調査目的	しまごとプロジェクト推進事業の具体的内容･成果及び行財政改革の取り組み状況についての調査
報告内容 実施したこと	1　視察先(市町村)の概要 人口 ： 29,129 人　　行政面積 ： 138.58 ㎢ 2　視察内容 ･しまごとプロジェクト推進事業について ･行財政改革について
感想（まとめ） 本市へ生かせること等	壱岐市は、平成16年3月に党内に合った4町が合併し誕生しました。壱岐市は、福岡県と対馬の中間地点にあり、島の一部が国定公園に指定されるなど、自然に恵まれており、その特性を生かし、畜産業、農業、漁業が産業の中心となっています。 平成16年に誕生した当初は人口3万3，000人を超えていましたが、年々人口課減少傾向にあり、地域活性化の一つとして、観光振興及び交流人口の拡大のため「しまごとプロジェクト推進事業」が平成21年度から始まりました。 主な事業として、「しまごと博物館･元気館事業」があります。市内にある博物館を利用し、単に展示物を飾るスペースにするだけではなく、芸術祭、音楽祭などの大規模イベントの開催や文化を体験することができる体験交流室の開設、フリーマーケットの開催など、さまざまな年齢層をターゲットとした行事が各種開催されています。観光客や地元の利用者からの反応も大変良いとのことであり、今後魅力ある事業を継続実施し、観光拠点･交流拠点としての魅力を増大していきたいとのことでした。 次に、壱岐市が行財政改革として取り組んでいるのが市職員数の今後の見通しを示した「新定員適正化計画」です。人口減少、長引く景気の低迷により市の財政が厳しいため、支所の統合、組織、機構の再構築、アウトソーシングを中心に、人件費の削減を目指し平成25年度に策定されました。この計画では、①退職予定者数の7割程度の新規採用数、②正職員が直接携わらなければならない業務以外の業務はアウトソーシングを視野にさらに縮減を目指すなど、5年間で100人以上を縮減するという具体的内容が盛り込まれていました。今後は年齢層のバランスも考慮し、取り組めるところから取り組んでいくとのことでした。 「しまごとプロジェクト推進事業」は。博物館を単なる展示スペースにとどまらせることなくイベントや体験型事業で市民や観光客を取り込む工夫がなされており、各種文化施設を保有している本市も取り組むことができるのではないかと思いました。また、「定員適正化計画」は各自治体により市民ニーズも異なるため、そのままあてはめるのは難しい面はありますが、より具体的な数字を出すということは参考となる取り組みであると感じました。